

ずいそう



夫も美術作家業をして
いるため、家族で美術館
や画廊に行くことが多い
のですが、やはり小さな
子どもにとっては退屈な
ようです。「帰りたい」「つ
まらない」と遠慮があり
ません。今は難しくても
見ておくことが大事、と
いう教育方針です！と言

いたるところですが、た
だただ自分たちが行きた
い場所に子どもを付き合
わせているというのが実
際のところなんです。
同様の理由で、たまに
社会運動のイベントやデ
モにも一緒にいきます。
モにも一緒にいきます。
少し前にも、パレスチナ
への連帯のデモに参加し
ました。雨の上に待ち時
間も長く、子どものスト
レスがピークになってい
るのを感じつつ、半分
くらいは手をつないで歩

ほんのはしっこだけでも

碓井ゆい(現代美術作家)

いて途中で離脱しまし
た。「同じくらいの歳の
子が殺されてるんだよ」
「食べるものもないんだ
よ」と説明しましたが、
ほんやりした反応で「疲
れた」と漏らしていまし
た。

に声を上げるとい行
の、ほんのはしっこだけ
でもつかんでくれたなら
連れて行って良かったの
かも、と初めて思った出
来事でした。
しかしそんなふうには
分の子の成長を感じるこ
とすら、ガザの人たちか
らは奪われ、あまりに多
くの子どもが亡くなった
と聞き、胸がつかれる思
いがします。微力ですが
できることを続けてい
きたいと思えます。

※唯井ゆいホームページ <https://yuiusui.com/>



夕方、金庫の花の
香りをうつつら感じな
がら歩いて買い物へ。
魚屋さんでキリキリし
た秋刀魚一尾買う。帰
り道、今度は軽い煙の
匂いが漂ってきた。畑
から細い煙が立つて丹
沢の山々の方に流れて
いく。
この秋と真ん中の風
景つたらたまらないね
！ 畑脇の無人販売で
栗と里芋も買う。季節
の食べ物がおいしい♪
と…うっとり秋満喫し
ていたら、なんとなく
くアレ？と、体が重い



イラスト・文
本田葉子

つかの間の秋、身も心も

の気がついた。少し
前から薄々は動づいて
はいたものの、涼しさ
の喜びにかまけて放つ
ておいたものだ。体重
の変化はないけれど、
身につけている衣類が
どことなくきつい感じ
がするのだった。加齢
による「肉付き」の変
化なんだろうな。ショ
ーツの締め付けが特に
厳しくなったので即下
着の見直しを。もう半

端な大きさがやなく、
すっぽりお尻を包み込
んでくれる大きめの衣
買い替えだ。これでウ
エストのストレスは半
減した。最近の下着つ
てデカパンでもかわい
い要素は残っており、
ちよつと安心する。夏
に購入したジャンパー
スカート、厚めのコッ
トン生地だったので着
用できずに、着る時を
待っていた一着だ。
ゆとりあるサイズ感
と丈にすっぽりと包ま
れる安心感がある。こ
うしてずんずん安心し
てお腹や背中肉たちが
が育ってしまうのだろ



うか。まあね、秋は毎年
そんなシーズン、せめ
ぎ合う気持ちの戦いの
場でもある。しかしと
りあえずでもキツイ締
め付けからは脱出し、
いろんなことを謳歌し
たい！「時間ができた
らね」と延ばしのぼ
しにしていた友人との
約束も、ひとつ実行に
移したいではないか！
外に出たらビシッと腹
圧だけは込め、代謝よ
く歩き回りたい。すぐ
に冬になってしまいま
うだから、つかの間の
シーズン、身も心も闊
歩させるよ。(隔月掲載)

BOOK

編集部
から

有楽町での新婦人パレスチナ連帯緊急行動(9月
29日)に偶然通りかかり、お手製プラカードも立
力をもたらした。「命奪うな」の思いはひとつ。(え)



女性科学者の先駆
け、猿橋勝子の生涯を
史実に基づいて描い
たフィクション。女性
が理系教育を受けづら
い時代、大学卒業後に
研究の道に進んだ勝
子。戦後、アメリカの
水爆実験による放射能
汚染の測定にたずさわ
り、核実験抑止に影響
を与える成果をあげ
た。科学者の尊い職務
は人類の幸福と平和に
貢献する事、とのひた
むきな思いと科学への
情熱の中には人間愛
が。猿橋賞を通して、後
に続く女性科学者のた
めにも力を尽くした。



「痛み」ほど個人的
ことは不可能だ。著者
は潰瘍性大腸炎を長く
患い、痛みと共に生き
てきた文学紹介者。文
学が表現してきた「痛
み」を通じて、わかり
あえなさに向き合った
一冊。時代、国を超え
て文豪たちを身近に感
じたり、妙な連帯感が
言葉でつながる瞬間は
きつとあるはず。肩の
力を抜いていこう。

代田知子さん 子どもの本 大人もぜひ!



ふしぎな
はごろも
蔡皋 作・絵
石田総 訳
(幼児～)

中国・ミャオ族の民話絵本『ふしぎ
なはごろも』から。正直で働き者なの
に貧しくて結婚できない若者がいた。
絵師に娘の絵を描いてもらい毎日話し
かけていると、絵の中の娘が出て来て
夫婦になれた。だが、美しく不思議な
力を持つ娘に目を付けた皇帝が「世界
一美しい羽衣を作れ」などの無理難題
を課して娘を奪おうとし…。民族色豊
かな美しい絵で不思議な物語世界を描
く。ぜひ読み聞かせで！
次は、つらい気持ちを抱えた子ども
を勇気づけ、周りに打ち明ける大切さ
を伝える『リトル じぶんのきもち
いえるかな』。スウェーデンの絵本。小
さいリトルは、けんかばかりしている
大きいふたりと暮らしている。怒鳴ら
れたり、放っておかれたりしているが



リトル
じぶんのきもち い
えるかな
ステイーナ・ヴィルセン 作・絵
きただいりこ 訳
(小学校低学年～)

誰にも言えない。でもある日、勇気
を出して保育園の先生に話した。すると、
リトルを助けてくれる大人がちゃんと
いたんだよ、というストーリー。優し
いタッチの絵。登場人物を「人」にせ
ずジェンダーもはっきりさせずに描い
ているので、誰もが自分に当てはめて
読むことができる。

最後は『美しくない青春』。主人公ミ
モザが、11歳になった年にアメリカと
の戦争が始まった。美しい時間、美し
い言葉、愛する者たちを戦争は容赦な
く奪う。でも彼女は、心の中でつぶや
く詩や、誰かを思う心など「美しいも
の」を守り、未来につなごうとしてい
た。青春時代を太平洋戦争に奪われた
彼女の戦中戦後の生きざまから目が離
せなくなる。モデルは著者の母親だ。



美しくない青春
小手鞠るい 作
(中学生～)